

脱炭素社会の実現に向けて — 自販機事業における脱炭素アクション



株式会社三チノク

2026年6月8日

株式会社三チノク

事業内容

自販機オペレーション事業

- ・自動販売機設置先の開拓
- ・商品補充、空容器回収



自販機移設・メンテナンス事業

- ・自動販売機の設置・引上・交換、整備、修理



株式会社三チノク

事業所

■所在地

本社：岩手県奥州市水沢工業団地三丁目84番地

青森県：八戸支店

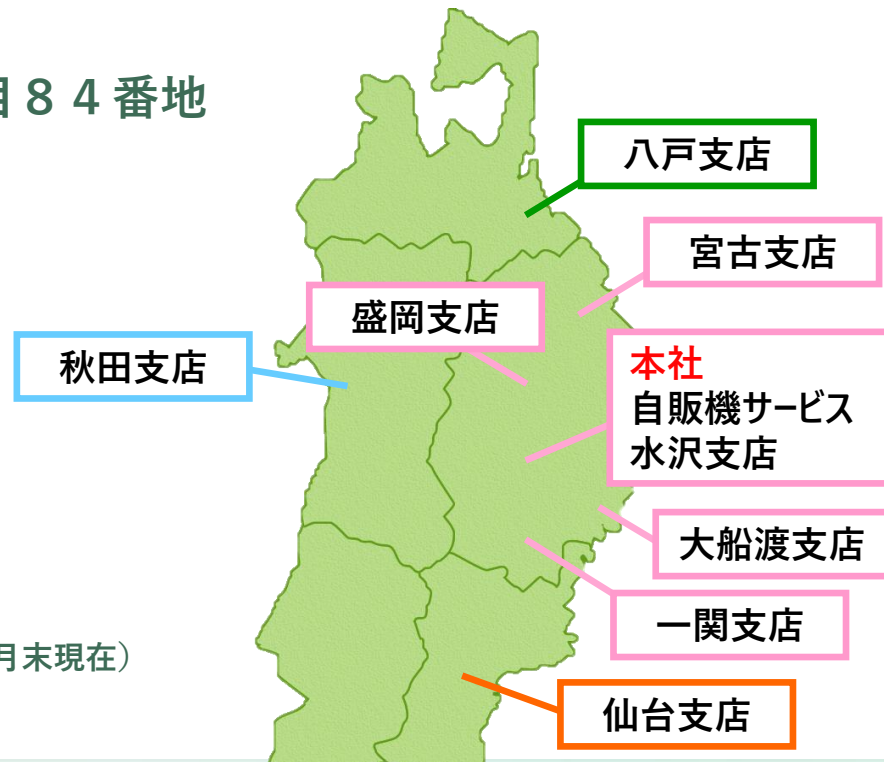
岩手県：本社・自販機サービス
水沢支店・盛岡支店・宮古支店
一関支店・大船渡支店

秋田県：秋田支店

宮城県：仙台支店

■社員数 約150人

■自販機保有台数 8,457台 (2026年4月末現在)



株式会社ミチノク

I沿革

1979

「みちのく総業株式会社」として現在の岩手県奥州市に設立

1990

「株式会社ミチノク」に社名変更

2010

アサヒカルピスビバレッジ100 %子会社化（2013年アサヒ飲料100 %子会社）

2020

SDGsプロジェクト発足

2023

ダイドードリンコ株式会社とアサヒ飲料株式会社との共同株式移転により
ダイナミックベンディングネットワーク株式会社が設立され、同社の傘下となる

株式会社三チノク

経営理念

わが社は、
地域社会の豊かで健康的な生活の実現に貢献するために、
飲料自動販売機事業の分野で、
真心のこもった価値あるサービスの提供を通じて、
いちばん信頼され、発展し続ける企業を目指します。

2020年SDGsプロジェクトを発足

社員が主体となりSDGsプロジェクトを始動

「5つの約束」を軸に持続可能な未来への取り組みを推進しています



『ミライツクル ～人と環境の未来を創る～』



【SDGsプロジェクト】環境への取り組み

環境美化活動

御所湖の清流を守る会様主催
御所湖周辺統一清掃



国立公園クリーン作戦
(in浄土ヶ浜)



胆沢ダム水源地域活性化協議会様主催
水源地域保全活動
桜の回廊の環境づくり



各支店周辺の清掃活動を
定期的 to 実施



自動販売機による寄付支援

日本農業遺産「東稲山麓地域」寄付金寄贈

売上げの一部が東稲山麓地域農業遺産推進協議会様へ寄付される社会貢献型自動販売機を、奥州市役所本庁舎、奥州市前沢総合支所、平泉町役場へ設置。
令和6年度分の寄付として2025年3月24日寄付金の贈呈を行った。寄付金は農業遺産の維持・保身に活用される。

※東稲山麓地域は岩手県一関市、奥州市、平泉町の境界に位置し、2023年1月日本農業遺産として認定された



訪問ルート効率化・エコドライブの推奨

リアルタイム売上データを基に訪問ルートの最適化を実施し、業務効率の向上と走行距離短縮による燃料消費削減を推進。
また、GXセミナーや社内報を活用してエコドライブの啓発を行い、全社的な環境意識の醸成に取り組んでいる。

エコドライブ！0のめざめ 実践してみよう！

- ②ふんわりアクセル「eスタート」
発進するときは、ゆっくりアクセルを踏んで加速しましょう。（最初の5秒で、約20km程度が目安です）目的の速度に達して、ゆっくり減速を心がけると、10%程度燃費が改善します。
急な加速・急減速は、燃費悪化の原因となります。
- ③エアコンの使用は適切に
暑い夏は、エアコンは必要に応じて使用してください。エアコンの温度設定は、夏は26℃を目安に設定し、冬は20℃を目安に設定してください。エアコンの温度設定は、燃費悪化の原因となります。また、冷房が必要なときは、車内を冷やさないようにしましょう。
- ④ムダなアイドリングはやめよう
待ち合わせや信号待ちのときは、アイドリングを止めましょう。10分間のアイドリング（エアコンの稼働）で、1300cc程度の燃料が消費されます。また、現在の使用車では基本的にアイドリングは不要です。エンジンをかけっぱなしに出現してしまいます。
- ⑤不要な荷物はおろそう
重い荷物は、燃費悪化の原因となります。燃費の悪化に大きく関係があります。たとえば、100kgの荷物を積むと、5%程度燃費が悪化します。また、車の燃費は、空気抵抗にも関係します。スキーやゴルフなどの外装品は、使用しないときには外しましょう。

燃費改善効果：10%改善、燃費改善効果：10%改善、燃費改善効果：10%改善、燃費改善効果：10%改善

仮想通貨活用によるSDGs推進施策

社内のSDGs活動を可視化し、社員一人一人のSDGs活動への意識向上を図るためactcoin※を活用したポイント付与制度を導入

※actcoinとは、社会貢献活動を独自のデジタルコイン（ポイント）で可視化・価値化するアプリサービス

年間獲得コイン数に応じて社員表彰を行うとともに、2025年は3団体へ、2026年は1団体へ寄付

【2025年寄付先3団体】

- ・NPO法人未来図書館様 ……岩手の子ども達のキャリア教育支援を行うNPO法人
- ・三陸ブルーラインプロジェクト様 ……岩手県大船渡市を中心に地域創生と東日本大震災の教訓を語り継ぐ防災教育をテーマにした防潮堤アートやワークショップなどを展開
- ・みんなの家様 ……岩手県奥州市水沢南地区で子ども食堂などを通じて地域の居場所作りを行っている団体

【2026年寄付先1団体】

- ・NPO法人 YOUTH SDGs SIP様 ……高校生が運営するNPO法人。SDGs達成のため、学習支援・イベント・講演会などを行っている



2025年寄贈式



2026年寄贈式



社員表彰式



当社の環境ビジョン

持続可能な未来のために、私たちは3つの柱を軸に環境課題に取り組んでいます



CO₂排出量削減

「CO₂を食べる自販機」の普及を通じて、
事業活動全体の脱炭素化に
貢献し続ける



省エネルギー推進

エネルギー効率の最大化を通じて、
事業活動の環境負荷を低減



資源循環の促進

廃棄物の削減とリサイクル率の向上で、
循環型社会の実現に貢献



CO₂排出量削減

「CO₂を食べる自販機」設置の拡大



資源循環の促進

「CO₂を食べる自販機」とは？

- ・アサヒ飲料株が開発した自動販売機庫内にCO₂を吸収する特殊材を搭載
- ・1台当たりのCO₂年間吸収量はCO₂排出量の最大20%※
スギ(林齢56-60年)に置き換えると約20本分の年間吸収量に相当する
※稼働電力由来のCO₂排出量に対して
- ・CO₂吸収済み吸収材をタイルやアスファルト、サンゴ保全等へ再利用するCO₂資源循環事業を開始している

特許第7282338号



CO₂吸収材

2026年4月末現在

設置台数：681台

(内岩手県内設置台数：248台)

※1台当たり年間最大60kgのCO₂を吸収

《CO₂吸収済み吸収材の再利用例》

コンクリートへの活用



コンクリートブロック

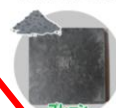


コンクリート床

サンゴ保全への活用



廃棄物を混ぜてアップサイクルタイルに



ブレイン
吸収材のみ



コーヒー+
吸収材



緑茶+
吸収材

樹脂コンパウンドへの活用



吸収材配合
リサイクルPPペレット



様々な成形品に加工可能
PP:ポリプロピレン樹脂

※写真はイメージです。
本来廃棄される予定の製品や素材に新たな価値を与えて再生する取り組み



CO₂排出量削減

「CO₂を食べる自販機」設置の拡大



資源循環の促進

アサヒ飲料が目指す姿:CO₂資源循環モデル



自動販売機を起点にCO₂を資源として循環させ
循環型社会の構築を図る

実現のために



今、弊社が取り組むべきこと

「CO₂を食べる自販機」の
認知拡大・意識啓蒙

それが私たちの役割





CO₂排出量削減

「CO₂を食べる自販機」を通じた取り組み（岩手県）

岩手県庁様

「CO₂を食べる自販機」設置



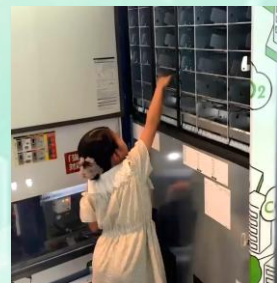
岩手県地球温暖化防止活動推進センター様

「CO₂を食べる自販機」展示設置



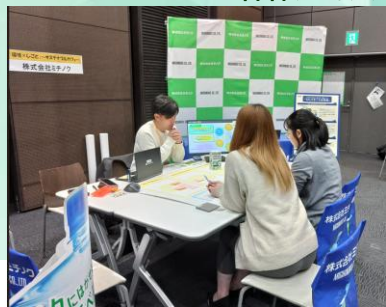
小学生向け環境授業開催

NPO法人環境パートナーシップいわて様×東京海上日動火災保険(株)様
×NPO法人未来図書館様×アサヒ飲料(株)×(株)ミチノク 共同開催



『環境×しごと』～サステナブルカフェ～参加

企画・実施：温暖化防止いわて県民会議
若者ワーキンググループ



いわてカーボンフリー・アクション様との連携

(ペットボトルキャップを協賛しワークショップにて活用)

盛岡マエガタイオンクリスマスマーケットイベント 奥州市開催 SDGs商店街



私たちはICFAの活動を応援しています



× 株式会社ミチノク

株式会社ミチノク



CO₂排出量削減

「CO₂を食べる自販機」を通じた取り組み（奥州市）

2024年8月29日

奥州市・アサヒ飲料株式会社・株式会社ミチノク

「地球温暖化対策及び気候変動適応対策に係る連携協定」締結



本協定に基づき、3者が連携し環境省が推進する地球温暖化の「緩和（温室効果ガスの排出削減対策）」および「適応（気候変動の影響による被害の回避・軽減対策）」に関する取組を推進しています

2025年6月3日

「みんなで防ごう！熱中症！」ステッカー車両出発式



2025年12月20日

NPO法人 YOUTH SDGs SIP主催／共催 奥州市
「SDGs商店街」へ参加

- ・「CO₂を食べる自販機」展示設置
- ・お仕事体験会





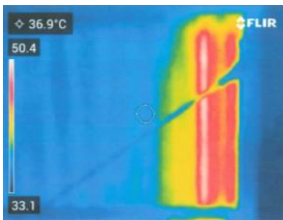
省エネルギー推進

守る・創る・減らす — 3つのエネルギー施策 —

-17°C 屋根・窓の遮断熱強化

本社 2 階窓ガラスの**二重サッシ化**及び**遮断熱ガラスへの交換**
自販機サービス工場の窓へ**遮断熱コーティング加工**
自販機サービス工場の**屋根に遮熱シート**を施工
(塗装ブース夏場40°C超→温度上昇を抑制)

エネルギーを
守る



2025年7月16日
気温32°C晴天
測定箇所 塗装ブース天井
未施工部：50.4°C
施工済部：33.1°C
未施工比-17.3°C
遮熱対策への高い効果



冷暖房効率改善・働く環境改善

遮熱シートおよび二重サッシの導入により空調効率が大きく改善
エアコン使用頻度の削減と働く環境の質向上を同時に達成

太陽光パネルの設置

41%

本社及び盛岡支店に太陽光発電設備を設置
電力使用量の**41%を再生可能エネルギーで充当**



エネルギーを
創る

LED照明への切替

27%

全拠点LED化と太陽光発電の併用で電力使用量を年間**27%削減**



エネルギーを
減らす



省エネルギー推進

資格取得で広がるGXアクション

資格取得

資格支援制度にて環境省認定制度 脱炭素アドバイザー（GX検定）の受検を推奨し、**GX検定 ベーシック 1 2 名、GX検定 アドバンスト 1 名**が資格を取得

社内普及

脱炭素アドバイザー資格を持つ社員による**社内GXセミナーを開催**
社内全体のGXに関する意識と知識の向上を図る

社外普及

小学生向け環境講座
社外向けGXセミナーを開催

小学生向け環境講座

東京海上日動火災保険株式会社様
やNPO法人未来図書館様との協働
により、次世代を担う子どもたちへ向け
た環境学習講座を開催した



社外向けGXセミナー

ニッコー・ファインメック株式会社様へ
CO2を食べる自販機を設置させてい
ただくとともに、GXセミナーの開催も
行った



持続可能な未来へ

今後も「CO₂を食べる自販機」の普及を通じ
環境価値と社会的価値の両立を図りながら
地域に根差した脱炭素アクションを推進してまいります



ご清聴ありがとうございました

株式会社ミチノク